

学習指導要領の趣旨を踏まえた 道徳科の授業と評価の在り方

伊豆市立中伊豆中学校 秋元一徹



道徳全体計画、別葉、指導計画の設備



校内研修

道徳授業の前日
授業内容について
教員同士でのフリー研修

道徳研修会



外部講師を招聘
講話していただき
ました。



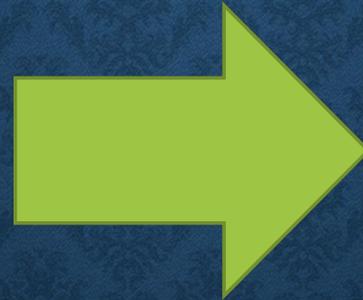
交流研究授業



同一教材による
授業構想と展開の比較



交流研究授業 外部講師講話



主発問・授業 展開の変更

1 主題名 社会の秩序と規則
内容項目 「遵法精神」
教材名 「二通の手紙」(出典:「私たちの道徳」 文部科学省)
ねらい 法や決まりの意義を理解し、秩序と規律のある社会を実現するために、社会の一員として自らに課せられた義務を確実に遂行しようとする態度を育てる。

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

生徒たちは誰もが望む社会の実現について大人より純粋に考えることができる。法や決まりについてその意義を理解することができるようになってくる反面、他に配慮を欠く風潮もあり、法や決まりは自分たちを束縛するものとして反発する姿も見られる。自意識と客観的事実との違いに悩み、様々な葛藤の中で、自らの生き方を模索する中学生の時期だからこそ、社会の秩序と規律を自ら高めていこうとする実践意欲を培うことが必要であり、自他の権利を大切に、義務を果たすことで、規律ある社会が実現することを自覚させたい。その観点よりこの主題を設定した。

(2) 生徒の実態について

本学級は素直で前向きに諸活動に取り組む生徒が多い。決まりは大切で守るべきものであることは理解しており、校則などの決まりを守って生活しようとする態度が見られる。しかし、何か個人的な理由があると決まりを破ってしまったり、情に流されて見て見ぬふりをしてしまったりすることもあり、その意義や役割についての意識は低いと感じている。

法や決まりについての意義を理解し、社会の秩序と規律を自ら高めていこうとする実践意欲を培うために、以下のような指導を行った。

社会科の「現代の民主政治と社会」「二度の世界大戦と日本」では、現代社会の法や決まりを理解し、社会の秩序と規律を守っていこうとする大切さを学んだ。

体育祭では、時間を守ったり、ルールを守ったりすることが、集団での活動を成功させるために必要であることを学んでいる。

そこで、これから自立して社会で生活していくためにも、決まりの意義について理解を深め、それらを守り自らの義務を果たしながらよりよい社会を創ろうとする実践意欲を養いたい

(3) 教材について

本教材では、動物園の規則を破って、子どもたちを中に入れてしまった元さんが、子どもの親に感謝される手紙をもらうが、上司から処分を命じる手紙を受け取り、処分を受け入れる姿が描かれている。動物園の規則と元さんの思いやりがぶつかって問題が発生しているように読まれることが多い。しかし、動物園の規則が間違っているのではなく、情にほだされて規則を曲げてしまうことで問題が生じていることがわかる。道徳的価値の理解についての不十分さから起こる問題である。元さんの判断を巡って、本教材の、本当の道徳的問題点はどこにあるのかを話し合うことを通して、社会における決まりの意義やそれを守るための大切さについて考えることができるのではないだろうか。

1 主題名 社会の秩序と規則
内容項目 遵法精神
教材名 「二通の手紙」(出典:「私たちの道徳」 文部科学省)
ねらい 法や決まりの意義を理解し、秩序と規律のある社会を実現するために、社会の一員として自らに課せられた義務を確実に遂行しようとする態度を育てる。

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

生徒たちは誰もが望む社会の実現について大人より純粋に考えることができる。法や決まりについてその意義を理解することができるようになってくる反面、他に配慮を欠く風潮もあり、法や決まりは自分たちを束縛するものとして反発する姿も見られる。自意識と客観的事実との違いに悩み、様々な葛藤の中で、自らの生き方を模索する中学生の時期だからこそ、社会の秩序と規律を自ら高めていこうとする実践意欲を培うことが必要であり、自他の権利を大切に、義務を果たすことで、規律ある社会が実現することを自覚させたい。その観点よりこの主題を設定した。

(2) 生徒の実態について

本学級は素直で前向きに諸活動に取り組む生徒が多い。決まりは大切で守るべきものであることは理解しており、校則などの決まりを守って生活しようとする態度が見られる。しかし、何か個人的な理由があると決まりを破ってしまったり、情に流されて見て見ぬふりをしてしまったりすることもあり、その意義や役割についての意識は低いと感じている。法や決まりについての意義を理解し、社会の秩序と規律を自ら高めていこうとする実践意欲を培うために、以下のような指導を行った。

社会科の「現代の民主政治と社会」「二度の世界大戦と日本」では、現代社会の法や決まりを理解し、社会の秩序と規律を守っていこうとする大切さを学んだ。そして、体育祭では、時間を守ったり、ルールを守ったりすることが、集団での活動を成功させるために必要であることを学んでいる。

法や決まりは自分自身や他者の生活や権利を守るためにあり、それを守ることを大切にする。法や決まりを守ることが、「自分を裏切らない」という自尊心につながり、目の前の相手の心情に思いを巡らせる思いやりの心にも関連していることを理解させたい。

(3) 教材について

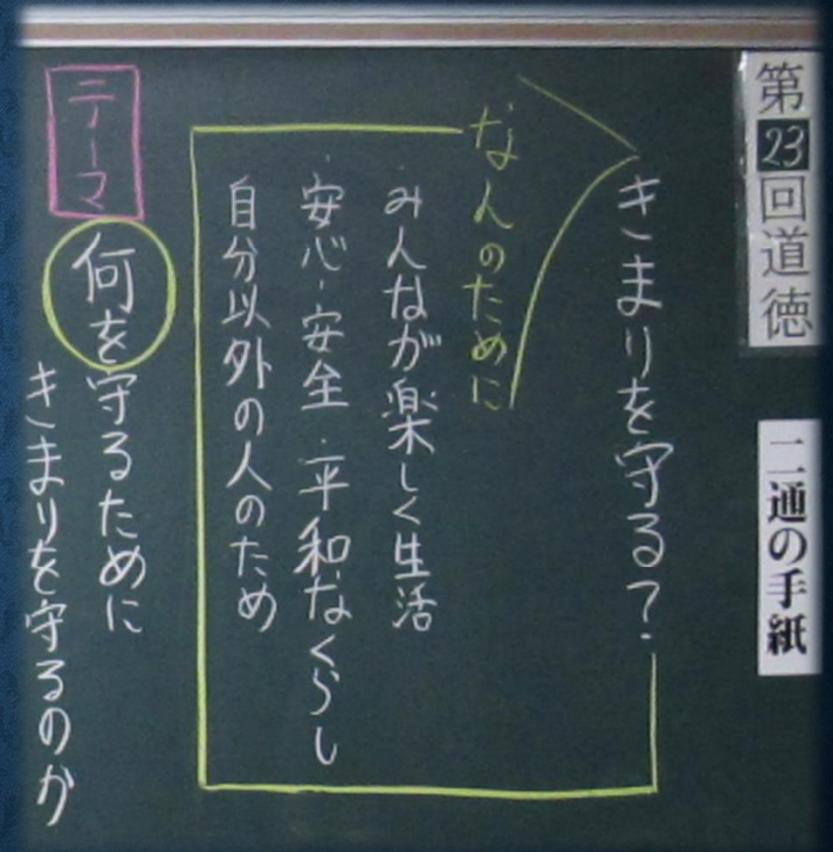
退職後も動物園で働くことを生きがいにしていた元さんが、幼い姉弟に懇願され、円の決まりを破って入園させてしまう。姉弟が閉園時刻になっても現れず、園内をあげて捜索することになる。二人は無事に発見され、姉弟の母親から御礼の手紙が届いた。だが、喜びもつかの間、園からは元さんに懲戒処分の通告が届いた。

二通の手紙を見比べて、晴れ晴れとした顔で自ら職を辞し、新たな出発しようとする元さんの姿から、決まりを守ることの意義に迫ることのできる教材である。

3 研修テーマとの関わり

自ら学習に向かい 学び合いを通して 力が付く授業づくり

- ① (学習意欲の喚起・必然性のある学習課題) 対立する2つの価値についての葛藤。
- ② (対話的な学び) 心情円を利用し立場を明確にし、多角的に話し合う。



主体的な学び

子ども自身の中に問いを生み出す
学習の目当て(テーマ)を示し、追求の見通しを持つ



対話的な学び

生徒の発言の中からキーワードを見つけ思考を深める
思いを伝え合う時間を確保、関わり合う場の設定



深い学び

新たな気づき、初めての納得、疑問課題を発見する
友人のどんな意見のお陰かを伝え合い、成長を実感する



道徳を「要」に、自己肯定感アップ & 学力向上



ドリームプロジェクト夢講演





伊豆市立中伊豆中学校

本日はありがとうございました

今後とも宜しくお願い致します